

【結果公表】

弥富市次世代育成支援地域行動計画（後期計画）（案）に対するパブリックコメントの実施結果については、以下のとおりです。

案件名	弥富市次世代育成支援地域行動計画（後期計画）（案）		
募集期間	平成21年12月14日（月）から平成22年1月15日（金）		
担当課	民生部児童課児童グループ		
募集結果の概要	弥富市次世代育成支援地域行動計画（後期計画）（案）に対する意見を募集した結果、1人の方から3件の意見が提出されました。		
意見提出数	電子メール	1人	3件

提出された意見と市の考え方

番号	意見の概要	市の考え方
1	<p>「サポートセンター事業をシルバー人材センターに委託する」ことについて</p> <p>サポートセンターの業務内容は、地域において育児の援助を行いたい人、適任者を探し出すこと。方や援助を受けたい人を登録・組織化し、必要なときに相互を紹介・調整を行うとなっている。子育ての専門家がいる「子育て支援センター」にファミリー・サポート・センターを置くのが良いと考える。</p>	<p>市のファミリー・サポート・センター事業は、現在、事業の準備業務を委託していますシルバー人材センターに委託する方向で進めています。なお、その事業の運営におきましては、センター内に育児に関する専門的知識と豊かな経験を有するアドバイザーを2名配置することを予定しています。</p> <p>また、シルバー人材センターの会員の皆様にも協力会員としての登録を期待しています。</p>
2	<p>「サポートセンター」が育児を行う子どもは「生後8か月から小学校在生まで」と聞いている。生後8か月からというのは市立保育所の入所条件と同じ。</p> <p>昨今の厳しい経済事情の中、働かなければならない母親が増えている。近くに親も親戚もない、育児休暇も思うように取れない働く母親のために、産休明けから預けられる「ファミリー・サポート・センター事業」にしていきたい。</p> <p>また、産休明けから預けることのできる保育所を順次つくってほしい。</p>	<p>産休明けは、親子のスキンシップを通して、児童の情緒の安定、心の豊かさを育てていくきわめて大切な時期であり、そうした子育て観を浸透させ、豊かな人間形成づくりの子育て支援をするという観点から、産休明け保育につきましては、慎重に検討することが大切であると考えています。</p> <p>そのようなことから、来年度から開設するファミリー・サポート・センターにつきましても、保育所と同様に生後8か月からの預かりを予定しています。</p> <p>一方、社会情勢の変化に伴う市民のニーズも見極めながら、保育所につきましては、現在移転改築を進めています新弥生保育所において、生後6か月からの保育について検討しています。</p>
3	<p>親戚や知人もいない子どもができた夫婦から「産前、産後の家事や買い物、育児などで支援をしてほしい」と、切実な声を聞く。</p> <p>自治体によっては、産前、産後をヘルパーがサポートしているところがあり、大変喜ばれていると聞く。</p> <p>弥富市でも支援を必要とする人たちの要望を取り入れたものにしていただきたい。</p>	<p>ヘルパーなどによる産前産後のお母さんのサポートについては、現在、シルバー人材センターのサービス分野の事業として、家事援助がありますので、そちらを活用していただきますようお願いいたします。</p>